

市民と市長との対話集会会議録【要旨】

※生成 AI による要約を行なっています。

令和6年12月13日 坂本まちづくり協議会

司会

小栗市長さんと坂本まちづくり協議会との対話集会を開始する。小栗市長さんには多忙な中でお越しいただき感謝している。桃井会長に坂本まちづくり協議会の挨拶をお願いする。

会長

こんにちは。市長とは最近多くお会いしている。坂本の夏祭りには3500人が参加し、78人の坂本中学校の生徒がボランティアとして協力したことがうれしかった。運動会の代わりにリフレッシュスポーツフェスを開催した。坂本はリニア関連工事の影響を受けつつ、将来に向けたにぎわいの創出を進めている。

体協会長

リフレッシュスポーツフェスの特集がまち協だよりに掲載された。坂本地区の運動会は中止になったが、リフレッシュスポーツフェスを新しいイベントとして定期的に行なっていく。来年は第2回を予定しており、ぜひ市長に参加してほしい。

会長

南海トラフ地震に関する防災講演会を計画中で、公民館まつりという地域の活性化イベントも予定している。坂本のまちづくりの今後について議論したい。市長のコメントにも期待している。

市長

坂本の皆さんには、日々のまちづくりへの理解と協力に感謝している。地域のイベントが人口減少や高齢化の中で行われており、高く評価している。市民との対話集会は、地域の課題を共有する場として重要であり、リニア活用のまちづくりについて意見を交わしたい。前向きな意見をお待ちしている。

司会

出席者の紹介は省略し、建設的な意見交換を目的とした集会の進行を行う。発言を希望される方を指名する。

参加者

坂本地区は人口減少が緩やかで、学童利用率が高く、こども園の入園希望も多い。坂本は中津川市全体の拠点になると考え、駅周辺にコミュニティが必要だと感じる。地域を盛り上げるため、さまざまなイベントに注力している。

市長

区長会からの要望で、駅前周辺の拠点が必要だと認識している。リニア駅が計画されているが、具

体的な開発はこれからである。その際、地域の意見を反映させて進めたい。

参加者

防災関連の施設が必要で、特に交通安全に配慮が必要である。リニアに伴う交通渋滞や通学路の確保に注意を払いたい。

参加者

坂本には観光資源が乏しいが、道の駅の建設によって農産物を集荷できる場を設けたい。また、マルシェなどのイベントを通じて活気を戻そうと考えている。治水対策にも力を入れる必要がある。

市長

工事車両が地域に影響を与えていることを理解し、安全運転の徹底をお願いする。道の駅の設置は地域のにぎわい創出に寄与するだろう。

参加者

生活福祉部会の活動として、高齢者対策などを行っており、地域支援の取り組みにコメントしたい。高齢者の集える場所や健康促進の施策が必要だと考えている。

市長

高齢者のサポート体制を強化することは重要であり、地域の皆さんの取り組みには感謝している。地域での支え合いが安心な暮らしにつながる。

参加者

防災士会を立ち上げて活動を開始した。防災拠点をリニア駅周辺に設置する重要性を述べ、地域住民の避難所として機能させたいと考える。

市長

災害対策は重要であり、地域の自助を促進することが大切だと考えている。防災拠点の設置も含め、多様な災害に備えたい。

参加者

子育て世代の視点から、安全な通学路と学童の拡充を求めたい。リニア開業後の生活環境を見据え、住みやすいまちづくりについて提案をする。

市長

子どもたちの安全を第一に考え、リニア開業による変化を見据えた対策が必要である。交流人口が増えた場合の生活環境整備についても検討していく。

参加者

地域活性化には長期的な投資が必要で、にぎわいのある駅前の実現を希望する。市長が率先して運営方針を示し、地域の発展につなげられることを期待している。

市長

意見交換を通じて地域が求めているものを理解し、坂本を中心として取り組みを進めていく。市民の暮らしやすさを実現する施策を共に考えていきたい。貴重なご意見をいただき感謝している。坂本におけるリニア開業をチャンスと捉え、周辺地域とも連携しながら発展に向けて進めていきたい。引き続き市民との対話を重視していく。